

「虹のかけ橋」ウミホテルとアワビがむすぶ日米交流」開催にあたって

NPO 南房総文化財・振興 保存活用フォーラム理事長 愛沢 伸雄

私たちNPOはこの地の魅力を掘り起こし、「いまある」ものの歴史・文化を活かしたガイド事業を通して、「平和・交流・共生」の理念が生きる地域づくりを自覚しています。

その思いを共感する人びとの出会いによって、安房の宝であるウミホテルとアワビに端を発した歴史が明らかになり、いま、新しい地域文化が生まれようとしています。

それは、「虹のかけ橋」ウミホテルとアワビがむすぶ日米交流」として、実を結ぶことになりました。館山発祥の合唱組曲「ウミホテル」コスモブルー

は平和の色」の初演コンサートを第1部、サン・ディエゴ州立大学名誉教授によるスライド講演「太平洋をわたった房総のアワビ漁師たち」を第2部として、9月3日午後1時半より南房総文化ホールで開催します。

この楽曲に心を動かされた百数十名が合唱団を結成し、初演に向けて練習に励んでいました。21世紀にふさわしい平和の贈り物として、安房の地から世界に発信されていくことを願っています。

60年前の9月3日、1945(昭和20)年、東京海上のミズーリ号で降伏文書調印式が行われた翌9月3日、約3500人のアメリカ占領軍が館山へ上陸しました。この上陸シーンの写真は、私たちNPOが作成したガイドブック「戦争遺跡」の表紙になっています。

ガイドブック「戦争遺跡」の表紙になっています。昨年、館山市在住の瀬口かおりさん(英会話スクール主宰・通訳)を通じて、この冊子を受け取ったライオン氏は「アメリカでは、8月15日と9月2日で戦争の歴史は終わっている。私の研究テーマに關わる南房総の館山に、アメリカ占領軍が上陸したということは知らなかった。この歴史の出来事から60年目にあたる2005年9月3日に、戦後日本のスタート

となった館山で、平和を考える集いを日米合同でやれないだろうか」というメッセージを私たちに伝えてきました。この申し出により、今日の催しが生まれました。

アワビがむすぶ日米交流。明治期に、小谷源之助・仲治郎兄弟が安房のアワビ漁師たちは、この地からカリフォルニア・モンレーにわたりました。ライオン氏はその研究をしている歴史学者ですが、日本でも館山市在住の水産学者大場俊雄氏が約40年前から同様の研究をしています。

一行は、アワビ漁師たちのふるさと白浜・千倉をはじめ、館山の戦争遺跡やハンガルの刻まれた「西面石塔」八幡祭礼、そして鴨川の大木千枝田や、館山の鯨塚などを見学して、南房総と世界のつながりや、日本の歴史・文化を学ぶ予定になっています。

太平洋にかかる橋。9月3日には、カリフォルニア生まれの旗本徳子千葉県知事とライオン氏が、国境を超えて相互理解と友好の関係を築いた先人に学び、新しい国際交流のあり方を語り合います。

「戦後60年の今夏、この日米交流が、安房の地から太平洋に架ける新しい橋となることを願います。多くの皆様のご来場をお待ちしております。入場は無料です。」



虹のかけ橋
安房山 山頂のアワビが戦後日米交流のシンボル
SPRIT OF TOTTENESS & TOTTENESS

【1】 2005年9月3日(土) 13:30 - 16:00 (開演)

【2】 2005年9月3日(土) 13:30 - 16:00 (開演)

【3】 2005年9月3日(土) 13:30 - 16:00 (開演)

【4】 2005年9月3日(土) 13:30 - 16:00 (開演)

【5】 2005年9月3日(土) 13:30 - 16:00 (開演)

【6】 2005年9月3日(土) 13:30 - 16:00 (開演)

【7】 2005年9月3日(土) 13:30 - 16:00 (開演)

【8】 2005年9月3日(土) 13:30 - 16:00 (開演)

【9】 2005年9月3日(土) 13:30 - 16:00 (開演)

【10】 2005年9月3日(土) 13:30 - 16:00 (開演)

「虹のかけ橋」ウミホテルとアワビ がむすぶ日米交流」開催にあたって

— 2 —

合唱組曲「ウミホテル」
初演実行委員長 船田 正廣

アーに参加し、ウミホテルに感動した音楽家によって、2年がかりで誕生した歌などという。そのとき、情熱的に語る愛宕さんから、1冊の楽譜を手渡された。

な入江の砂浜の海、とりわけ館山に多く棲息するウミホテルの放つ光を、実際に体験した音楽家から生まれたこの名曲は、館山で初演するのが最も相応しいと強く感じた。彼

同を呼びかけて回った。来てくださった藤村先生が、当日の指揮をとってくださったという。なんと含み23人の市民が名乗りを上げてくださった。次には、館山音楽鑑賞協会長の本多かおる先生が副実行委員長として、若輩の私を支えてくださった。その後、さらに合唱団員を募集しようと、4月の初練習には約80人（内、子どもたちが26人）も集まった。

ウミホテルは小さい、その子どもたちはもって小さい。しかし、3億年も光り続けてきたという。館山の生きた化石、生きた文化財と云える。ウミホテルが光る色は描いてはいない、だが、なんとも名状しがたい。作詞家の大門高子さんは、それを「コスモス」と言い、世界の色名帳にも無いと思うが、みごとである。

作詞は藤村記一郎さん、有名なミュージカル『ぞうれっしやがやってきた』の作曲家だ。表紙をめくると、序章「夕日の海」に始まり、第1章「ウミホテルの光」、第2章「戦争のシナリオ」、第3章「子供たちの小さな戦争」、第4章「戦場のウミホテル」、第5章「宇宙（そら）の子守唄」、第6章「光の海」、そして番外編「レッツゴー沖ノ島」と続く。家に帰って、素人ながらひと通りハミングしてみろ。うん、なかなかいい感じだ。

指導者の本橋朋子さんと一緒に、音楽関係者へ賛

来てくださった藤村先生が、当日の指揮をとってくださったという。なんと含み23人の市民が名乗りを上げてくださった。次には、館山音楽鑑賞協会長の本多かおる先生が副実行委員長として、若輩の私を支えてくださった。その後、さらに合唱団員を募集しようと、4月の初練習には約80人（内、子どもたちが26人）も集まった。

「船田先生、ウミホテルの合唱組曲が出来たんです。館山で初演コンサートをやりたいんですが、力を貸してもらえませんか」と言う。

最後に記されている作曲者のメッセージを読んだとき、心が動いた。静か

来てくださった藤村先生が、当日の指揮をとってくださったという。なんと含み23人の市民が名乗りを上げてくださった。次には、館山音楽鑑賞協会長の本多かおる先生が副実行委員長として、若輩の私を支えてくださった。その後、さらに合唱団員を募集しようと、4月の初練習には約80人（内、子どもたちが26人）も集まった。

来てくださった藤村先生が、当日の指揮をとってくださったという。なんと含み23人の市民が名乗りを上げてくださった。次には、館山音楽鑑賞協会長の本多かおる先生が副実行委員長として、若輩の私を支えてくださった。その後、さらに合唱団員を募集しようと、4月の初練習には約80人（内、子どもたちが26人）も集まった。

「船田先生、ウミホテルの合唱組曲が出来たんです。館山で初演コンサートをやりたいんですが、力を貸してもらえませんか」と言う。

最後に記されている作曲者のメッセージを読んだとき、心が動いた。静か

来てくださった藤村先生が、当日の指揮をとってくださったという。なんと含み23人の市民が名乗りを上げてくださった。次には、館山音楽鑑賞協会長の本多かおる先生が副実行委員長として、若輩の私を支えてくださった。その後、さらに合唱団員を募集しようと、4月の初練習には約80人（内、子どもたちが26人）も集まった。

来てくださった藤村先生が、当日の指揮をとってくださったという。なんと含み23人の市民が名乗りを上げてくださった。次には、館山音楽鑑賞協会長の本多かおる先生が副実行委員長として、若輩の私を支えてくださった。その後、さらに合唱団員を募集しようと、4月の初練習には約80人（内、子どもたちが26人）も集まった。

「船田先生、ウミホテルの合唱組曲が出来たんです。館山で初演コンサートをやりたいんですが、力を貸してもらえませんか」と言う。

最後に記されている作曲者のメッセージを読んだとき、心が動いた。静か

来てくださった藤村先生が、当日の指揮をとってくださったという。なんと含み23人の市民が名乗りを上げてくださった。次には、館山音楽鑑賞協会長の本多かおる先生が副実行委員長として、若輩の私を支えてくださった。その後、さらに合唱団員を募集しようと、4月の初練習には約80人（内、子どもたちが26人）も集まった。

来てくださった藤村先生が、当日の指揮をとってくださったという。なんと含み23人の市民が名乗りを上げてくださった。次には、館山音楽鑑賞協会長の本多かおる先生が副実行委員長として、若輩の私を支えてくださった。その後、さらに合唱団員を募集しようと、4月の初練習には約80人（内、子どもたちが26人）も集まった。

「船田先生、ウミホテルの合唱組曲が出来たんです。館山で初演コンサートをやりたいんですが、力を貸してもらえませんか」と言う。

最後に記されている作曲者のメッセージを読んだとき、心が動いた。静か

来てくださった藤村先生が、当日の指揮をとってくださったという。なんと含み23人の市民が名乗りを上げてくださった。次には、館山音楽鑑賞協会長の本多かおる先生が副実行委員長として、若輩の私を支えてくださった。その後、さらに合唱団員を募集しようと、4月の初練習には約80人（内、子どもたちが26人）も集まった。

来てくださった藤村先生が、当日の指揮をとってくださったという。なんと含み23人の市民が名乗りを上げてくださった。次には、館山音楽鑑賞協会長の本多かおる先生が副実行委員長として、若輩の私を支えてくださった。その後、さらに合唱団員を募集しようと、4月の初練習には約80人（内、子どもたちが26人）も集まった。

本書に向け練習に励む合唱団員



「虹のかけ橋」ウミホテルとアワビがむすぶ日米交流開催にあたって

NPO法人 南房総文化財 池田恵美子
戦跡保存活用フォーラム

—終—

子どもたちに平和を手渡そう

「戦後60年」の今年、諸団体と手をつなぎ「南房総平和フェスティバル2005」子どもたちに平和を手渡そう」というネットワークをつくってきました。

安房反核フェスティバル、安房地域母親大会、朗読劇「この子らの夏」などなど、これまで地道に活動を続けてきたグループはじめ、その輪はどんどん広がりました。終戦記念日の「平和の集い」や、「安房・平和のための美術展」など、多彩なプログラムが充実した夏でした。

この一連行事のクライマックスとして、9月3日午後1時半より、南総文化ホールにて「虹のかけ橋」ウミホテルとアワビがむすぶ日米交流（入場無料）を開催します。ユネスコ精神を館山から発信

平和は世界恒久の願いです。教育や文化の振興を通じて、戦争の悲劇を繰り返さないように、という意図で設立されたユネスコ憲章の前文には、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」という精神が謳われています。

国連本部をはじめ、世界中に設置されている「世界平和の鐘」は、毎年9月の国連総会開会日（国際平和の日）に鳴り響いているといわれています。

戦後まもなく、全国に先駆けて館山ユネスコ協会を立ち上げ、半世紀にわたってユネスコ精神を実践してこられた本多かおる先生が、その精神を館山から発信するにふさわしい今回の催しを「虹のかけ橋」と名づけ、実行委員長の任を引き受けてご尽力くださっています。

「平和フェスティバル」では、埋もれていた安房の歴史にもとづく、市民による草の根の国際親善事業に取り組んでいます。その一つは、「たてやま日韓子ども交流」でした。今年、韓流ブームの高まりに反比例するかのよう、歴史認識のズレによる反日感情の高まりのかけ橋として、実行委員長の任を引き受けてご尽力くださっています。

行事の中止が各地で相次いだのです。そんななか、韓国・浦項市ハン製鉄西初等学校の児童20人を館山に迎え入れたのは、とても意義深いことでした。浦項と館山の子どもたちは、館山の歴史・文化を学び、音楽や自然体験を通じて、友情を深めました。

なかでも、館山の大蔵院にあるハンクルが刻まれた「四面石塔」の前で、両国の歴史を学んだ子どもたちからは、「もっとお互いの国を知って、仲良くしたい」という発言もありました。音楽会では、両国の言葉でユネスコ平和宣言が唱和され「平和の鐘」の儀式もおこなわれました。

多くの市民や文化関係など諸団体のご協力のおかげで、子どもたちによる「善隣友好」に貢献することができました。

太平洋に架ける橋。太平洋をはさんで位置する日本とアメリカ。指をさすように向かい合う房総半島とモンントレー半島。友情と戦争。安房の海に生きるウミホテルとアワビ。……さまざまなキーワードで出会った人びとの想いは、「虹のかけ橋」ウミホテルとアワビがむすぶ日米交流」として結実しました。平和宣言都市・館山においておこなうこの催しは、地域から国際親善に寄与する小さな一歩です。

夢と希望と勇気を。百年前に、安房からアメリカへわたったアワビ漁師たちの話に、私はワクワクしています。



太平洋に架ける橋
アワビとウミホテルの絆
Building Across The Ties
Awaabi and Umi Hotel's Bond

明治という時代に、どんな思いで、太平洋へ漕ぎ出したのでしょうか。言葉も通じず、生活習慣も文化も違う異国の地で、どのように信頼を得て、ビジネスを成功させていったのでしょうか。そして何より驚いたのは、アワビの大きさです。人の顔より大きなアワビのスデーキって、どんな味なのでしょう。興味は尽きません。

不安な要素の多い現代、安房の先人たちの歴史は、私たちに夢と希望と勇気を与えてくれます。同時に演奏される館山発祥の合唱組曲「ウミホテル」コスモフルは平和の色も聞くたびに感動し、心が温かくなります。私は、このワクワク感をたくさんの人と分かちあいたいと望んでいます。

9月3日には、『太平洋に架ける橋』アワビがむすぶ南房総・モンントレー民間交流史の冊子と『ウミホテル』の楽譜を、特別価格500円で頒布いたします。ご来場をお待ちしています。